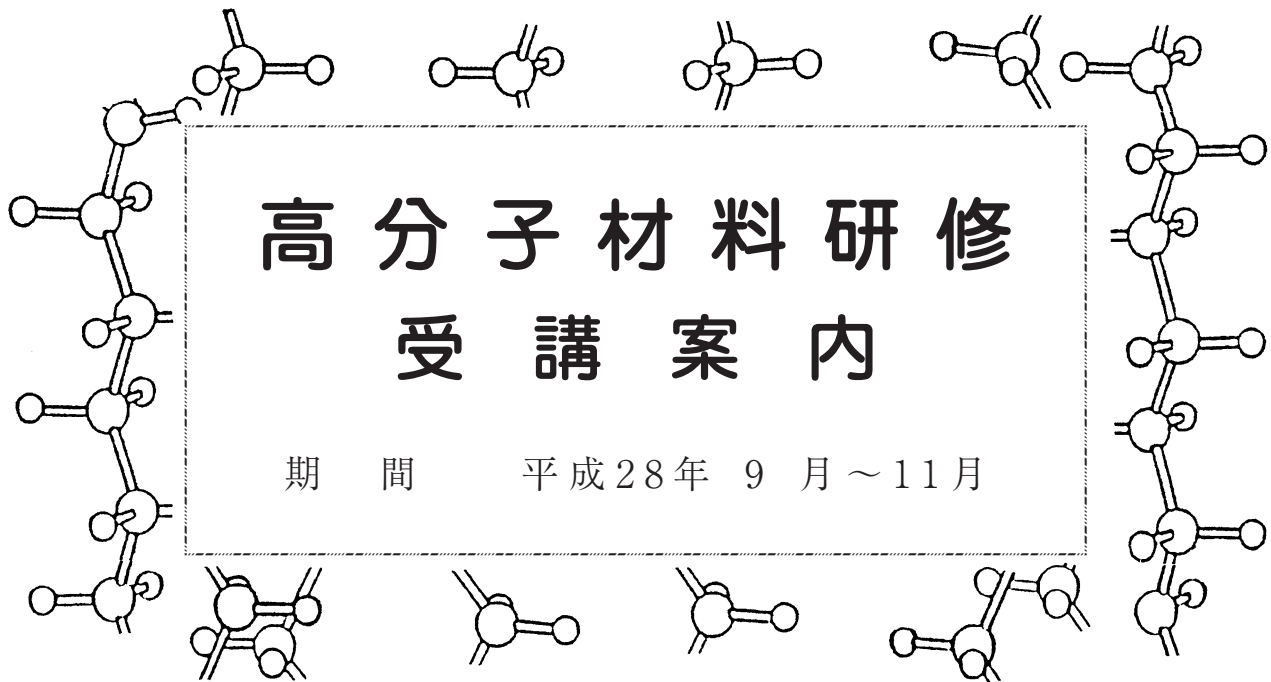


— 関係部課にご回覧下さい —

役 員	部 長	課 長	係 長	係 員

平成28年度
中小企業技術者研修



“プラスチックとはどんなものだろうか？”

また“このプラスチックは、どんな材料からできているのだろうか？”

このような疑問にこたえられる技術者を養成する目的で、機器分析の実習を中心にしたコースを計画しました。

ポリマーの機器分析および機械的性質の測定など、高分子の基礎技術が習得できるような構成になっています。

主 催 名古屋市 ・ (公財)名古屋産業振興公社

《研修生募集要項》

研 修 の 目 的	中小企業者または、その従業員に対し技術に関する基礎理論、応用知識及びこれに関連する必要な事項等を研修することにより、中小企業の技術開発力の向上を図り、企業の発展に資することを目的とする。
研修期間と時間	平成28年 9 月 6 日～平成28年11月22日 毎週火曜日 午前 9 時30分～午後 4 時30分（昼 1 時間休憩） 講義24時間、実習48時間 計72時間 実習は 2 グループに分けて行います。（1 グループ 5 人）
研 修 場 所	名古屋市工業研究所 名古屋市熱田区六番三丁目 4 - 41
募 集 人 員	定員10名
受 講 料	59,400円
修 了 証 書	所定時間数以上出席の受講者には、名古屋市長より修了証書が交付されます。
申 込 方 法	受講希望者は添付の受講申込書、または http://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/doc/giken.doc からダウンロードした申込書フォーム（Word文書）に必要事項を記入の上、郵送・ファックス・電子メール添付のいずれかにより 8 月23日(火) までに下記にお申し込み下さい。本研修の目的に合うと認められる方から申し込み順に定員まで選考し、開講日時などについてご連絡します。また、定員に達した時は、締切日を早めることがありますのでご了承下さい。 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内 公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課 電話 〈052〉 654 - 1653 F A X 〈052〉 661 - 0158 E-mail:kenshu@nipc.or.jp
受 講 料 の 納 入	受講決定通知の際、受講料の 請求書 を同封しますので、指定期日までに納入して下さい。
そ の 他	○納入された受講料の払戻しはいたしません。 ○講義日程等は変更することがあります。 ○研修中の事故については、一切責任を負いません。 ○本研修を受講された研修生の事業主に対して、 <u>要件を満たす場合</u> 、「キャリア形成促進助成金」制度の利用ができます。 ＜厚生労働省愛知労働局 あいち雇用助成室 TEL 052 - 688 - 5758へお問い合わせ下さい。＞

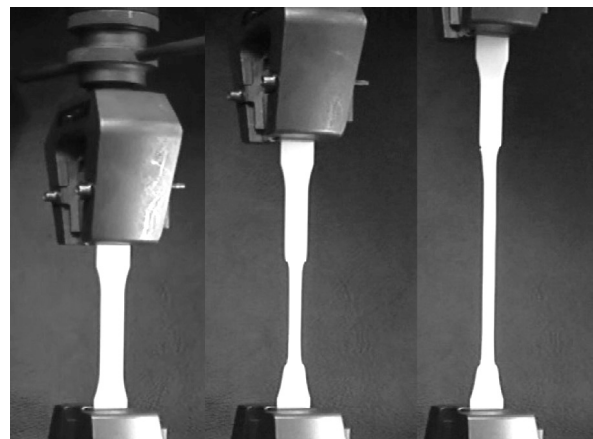
《研修科目と講師》

科 目	時 間	講 師	主 な 内 容
高分子化学概論	6	三重大学大学院 工学研究科 分子素材工学専攻 招へい教授 川 口 正 美	高分子化学の基礎を平易に解説し、高分子入門の手引きとする。
高分子分析概論	6	名古屋工業大学大学院 工学研究科 生命・応用化学専攻 教授 大 谷 肇	高分子分析に利用する機器分析一般について平易に講義し、実習の指針とする。
高分子複合材料概論	3	(公財)科学技術交流財団 佐 藤 紀 夫	ガラス繊維、炭素繊維、アラミド繊維等で強化したプラスチックの特長、用途などを紹介する。
プラスチックの添加剤	3	日本聴能言語福祉学院 非常勤講師 工学博士 伊 藤 信 義	プラスチック材料に利用される添加剤について解説する。
最新の射出成形技術	3	(株)名機製作所 営業部 成形技術課 山 本 隼 人	高付加価値製品製造に向けた多色異材質成形、射出プレス成形などの技術を解説する。
プラスチック材料	3	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 岡 本 和 明	プラスチック材料の用途、性質、課題などについて解説する。
熱 分 析 実 習	6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 小 田 三都郎	プラスチックの示差走査熱量測定、熱重量測定についての解説と実習を行う。
熱分解ガスクロマトグラフィー 実 習	6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 山 中 基 資	ガスクロマトグラフィーおよび熱分解ガスクロマトグラフィーについての解説と実習を行う。
赤外吸収スペクトル 実 習	6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 高 木 康 雄	赤外吸収スペクトルによるポリマーの同定および共重合体組成の判定を行う。
X線CTとCAE 実 習	6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 名 倉 あずさ	X線CTを用いて樹脂や電装部品の観察を行う。樹脂部品について流動解析および静応力解析の実習を行う。

科 目	時 間	講 師	主 な 内 容
核磁気共鳴（NMR） スペクトル 実 習	6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 石 垣 友 三	有機化合物、ポリマーの同定および構造解析へのNMRの利用法について解説と実習を行う。
プラスチックの強度 試験 実 習	6	名古屋市工業研究所 製品技術研究室 二 村 道 也	プラスチックの強度、応力・ひずみ測定法の解説と実習を行う。
プラスチックの分光 特性 実 習	6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 林 英 樹	プラスチック材料の分光特性の評価法の概説と実習を行う。
プラスチックの成形 加工 実 習	6	名古屋市工業研究所 有機材料研究室 岡 本 和 明 名 倉 あずさ	押出機、成形機を使って、プラスチックの成形加工を行う。



X線CT観察による樹脂製部品中のボイド



ポリエチレンの引張試験

連絡先 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内
 公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課
 電話 〈052〉 654-1653 F A X 〈052〉 661-0158
 URL <http://www.nipc.or.jp>

受講申込書

(あて先) (公財)名古屋産業振興公社
ものづくり人材育成課

F A X 052-661-0158

平成 年 月 日

平成 28 年度中小企業技術者研修の下記コースに受講を申し込みます。

「高分子材料研修」

(ふりがな)
受講者氏名
(ふりがな)
会 社 名
(ふりがな)
代表者役職・氏名・生年月日
年 月 日
〒
会社所在地
電話
FAX
ホームページ アドレス

受講者 連絡先 (上記会社所在地と異なる場合、勤務地・工場名等を記入)	〒		連絡責任者氏名	
	電話 FAX E-mail		連絡責任者所属・役職	
受講者所属(部課)			業種(下記一覽参照) ・主要製品	
受講者担当業務				
受講者これまでの従事業務及び年数 (技術的業務を記入)	従事業務名	従事年数	資 本 金	
				従 業 員 数

(業 種 一 覧)

0001	食料品製造業	0011	プラスチック製品製造業	0021	電子部品・デバイス製造業	0031	卸売・小売業
0002	飲料・たばこ・飼料製造業	0012	ゴム製品製造業	0022	輸送用機械器具製造業	0032	金融・保険業
0003	繊維工業(0004を除く)	0013	なめし革・同製品・毛皮製造業	0023	精密機械器具製造業	0033	不動産業
0004	衣服・その他の繊維製品製造業	0014	窯業・土石製品製造業	0024	その他の製造業	0034	飲食店、宿泊業
0005	木材・木製品製造業(0006を除く)	0015	鉄鋼業	0025	農・林・水産業	0035	医療、福祉
0006	家具・装備品製造業	0016	非鉄金属製造業	0026	鉱業	0036	教育、学習支援業
0007	パルプ・紙・紙加工品製造業	0017	金属製品製造業	0027	建設業	0037	複合サービス事業
0008	印刷・同関連業	0018	一般機械器具製造業	0028	電気・ガス・熱供給・水道業	0038	その他サービス業
0009	化学工業	0019	電気機械器具製造業	0029	情報通信業	0039	公務
0010	石油製品・石炭製品製造業	0020	情報通信機械器具製造業	0030	運輸業	0040	分類不能の産業

※ご記入頂きました個人情報、研修生への連絡や名古屋市工業研究所及び当公社の開催する研修の案内以外には使用いたしません。暴力団の活動に利用されることにより当該暴力団の利益になると認められるときは、受講をお断りします。なお、その判断をするに当たっては、暴力団員かどうか等について、愛知県警察本部長の意見を聴くことがあります。